

令和5年度の重点課題

運動やスポーツをすることは好きな児童が多いが、基礎的な体の動きを再現することを苦手としている児童が多い。

男子...「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」において県平均値かつ全国平均値を下回っている。

女子...「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において県平均値かつ全国平均値を下回っている。

全国平均値(令和4年度)を上回る種目が、6/16=37.5%と低い。

1日の運動やスポーツをする時間が30分未満の児童が20%である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ・授業内で、基礎的な体の動きに繋がるサーキット運動を継続して行った。
- ・単元に応じて、準備体操でサーキット運動や基礎的な動きを取り入れたACP(アクティブチャイルドプログラム)を積極的に取り入れた。
- ・体を動かす機会を増やすために、体力テストで数値が低かった項目を中心に教員が分担し、体力づくりや体を動かす楽しさに繋がる運動を紹介した。
- ・体育実技に関する校内研修を行い、体を動かす楽しさや難しさを教員自身が実際に体験することで、児童が体を動かしたいと思える授業づくりを行った。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.89	16.78	30.86	39.51	47.62	9.38	156.76	20.78	51.89	第5学年	16.66	13.73	34.37	37.35	39.58	9.73	143.57	11.42	50.97

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.89	16.78	30.86	39.51	47.62	9.38	156.76	20.78	51.89	第5学年	16.66	13.73	34.37	37.35	39.58	9.73	143.57	11.42	50.97

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	60.00	40.00	0.00	0.00	第5学年	32.35	67.65	0.00	0.00

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	87.1	9.7	0	3.2	第1学年	90	6.7	0	3.3
第2学年	80.6	6.5	3.2	9.7	第2学年	69.7	21.2	9.1	0
第3学年	76.9	12.8	10.3	0	第3学年	74.4	14.1	9	2.6
第4学年	74.4	14	9.3	2.3	第4学年	58.1	25.6	14	2.3
第5学年	60	40	0	0	第5学年	32.35	67.65	0	0
第6学年	66	26	8	0	第6学年	33.3	39.6	20.8	6.3

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して準備運動(5分～10分)の中に、各単元の主運動につながる運動遊び、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。
- ・体ジャンケン...楽しみながら、屈伸運動やジャンプ等の準備運動に役立てる。
- ・動物歩き...体を温めながら、器械運動の基礎となる動きを身に付けさせる。
- ・新聞紙...新聞紙になりきることで表現運動の基礎を培う。新聞ボールを作り、握力や投げる力を高める。
- 1時間の授業での運動量を確保する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 主体的な外遊びを促す「みなみんタイム」
- 児童が主体的に遊びを計画し、全校児童が外遊びをする「みなみんタイム」を継続的に行う。
- 体力向上のための授業改善及び校内研修
- 学校外で受講した研修内容を全教職員に共有するとともに、体育授業や特別活動等で実践を行い、研修の成果を集積していく。
- 保護者や地域との連携
- 生活習慣や運動習慣を改善できるよう、保健だよりを通じて保護者や地域に周知する。

重点課題

情意面での課題

運動が好きと回答する児童が、第1学年から第5学年において男女ともに80%以上である。一方で、第6学年女子児童が、運動に対して苦手意識をもっている。  
運動が苦手であると答える児童の中には、「休み時間に外で遊ぶよりも教室で読書をする方が好きだ」という児童が数名いた。  
以上2点から、高学年女子児童を中心に、「運動をする機会が不十分であること」「体を楽しく動かす経験が乏しいこと」が課題である。

体力面での課題

男子:「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値を下回っている。  
女子:7種目において、県平均値かつ全国平均値を下回っている。特に、「上体起こし」において、平均値を大きく下回っている。  
全体:新体力テストの総合評価が、AB率29.7%、DE率44.6%で、DE評価の割合がAB評価を上回っている。

令和7年度の重点目標値

- 体力面
- 20mシャトルラン、長座体前屈において、県平均値かつ全国平均値以上
- 情意面
- 児童アンケート「体を動かすことが好きか」の質問項目において、肯定的に回答する児童の割合 90%以上